

令和 4 年 3 月 25 日
県土整備部河川整備課
043-223-3165

二級河川における流域治水プロジェクトの策定・公表について

県内の二級河川のうち4水系（^{しいづがわ}椎津川水系、^{へぐりがわ}平久里川水系、^{まがめがわ}真亀川水系、^{くりやまがわ}栗山川水系）において、流域治水プロジェクトを策定しましたので、公表します。

なお、流域治水プロジェクトは水系毎に策定することを基本とし、流域治水協議会における協議を踏まえ、他の水系についても順次策定していく予定です。

1 流域治水

近年、全国各地で激甚な水害が頻発しており、さらに、今後、気候変動による降雨量の増大や水害の激甚化・頻発化が予想されています。このような水害のリスクの増大に備えるため、河川管理者等が主体となっていく従来からの治水対策に加え、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」への転換を進めることが必要です。

2 流域治水プロジェクト

流域治水を計画的に推進していくために、流域の関係者で構成される「流域治水協議会」を4圏域（東京湾北部圏域、東京湾南部圏域、房総圏域、九十九里圏域）で設立し、流域治水に係る協議・情報共有を行うとともに、早急に実施すべき流域治水の全体像を示す「流域治水プロジェクト」の策定作業を進めてきました。昨年3月に策定した一宮川水系、昨年11月に策定した海老川水系、都川水系、南白亀川水系及び作田川水系に続き、この度、下記の4水系で「流域治水プロジェクト」の策定が完了しました。

（1）椎津川水系流域治水プロジェクト

策定主体 東京湾南部圏域流域治水協議会

構 成 員 千葉市、木更津市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、千葉県

（2）平久里川水系流域治水プロジェクト

策定主体 房総圏域流域治水協議会

構 成 員 館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町、鋸南町、千葉県

（3）真亀川水系流域治水プロジェクト

策定主体 九十九里圏域流域治水協議会

構 成 員 銚子市、茂原市、東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、大網白里市、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、長生村、白子町、
(独)水資源機構、成田国際空港(株)、千葉県

（4）栗山川水系流域治水プロジェクト

策定主体 九十九里圏域流域治水協議会

構 成 員 銚子市、茂原市、東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、大網白里市、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、長生村、白子町、
(独)水資源機構、成田国際空港(株)、千葉県

【千葉県ホームページ（URL）】

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kasei/kawazukuri/ryuikichisui.html>

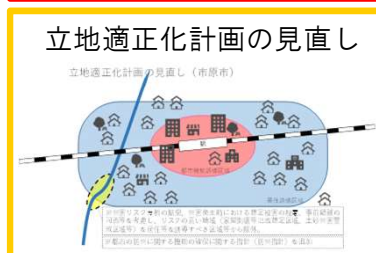
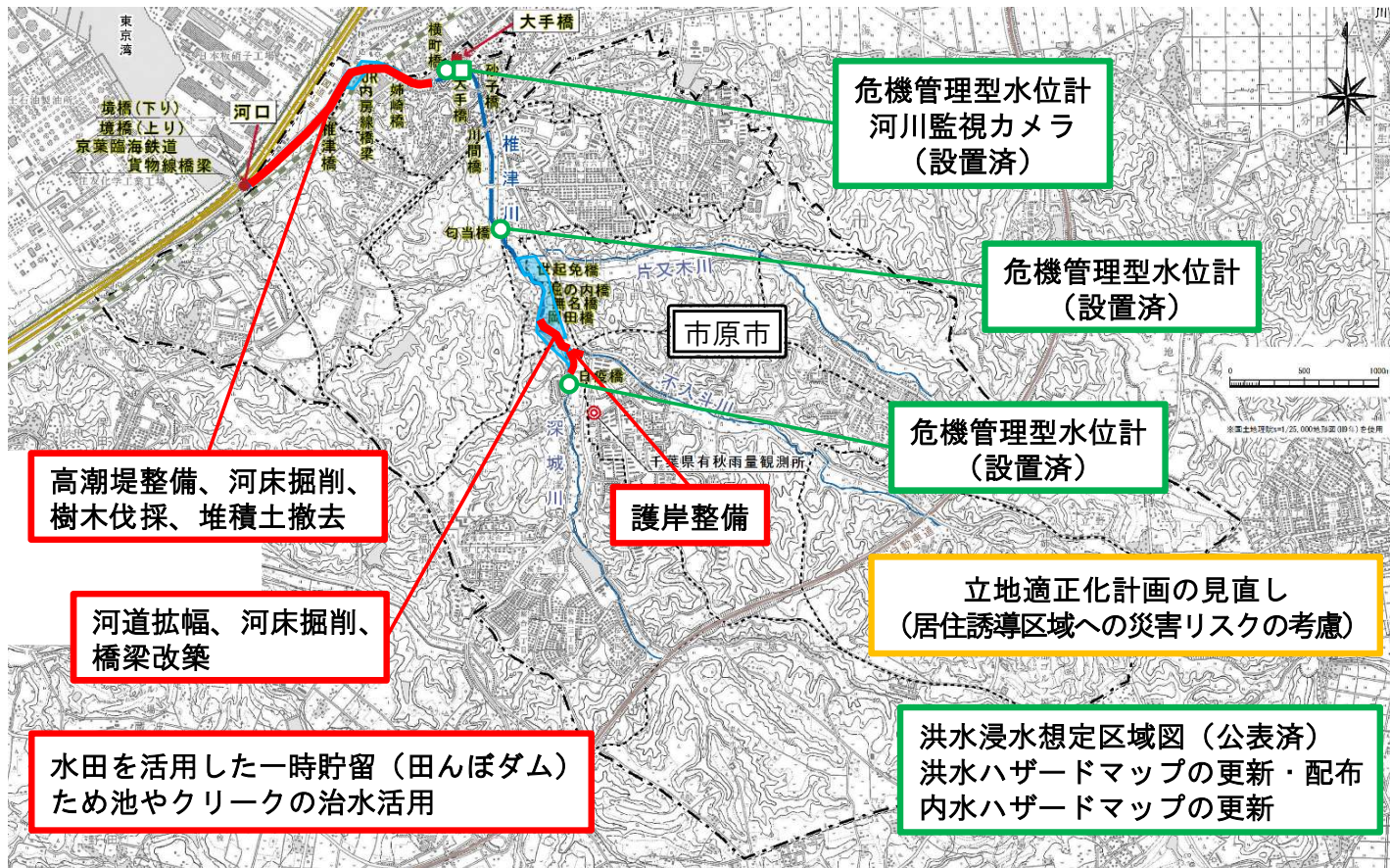
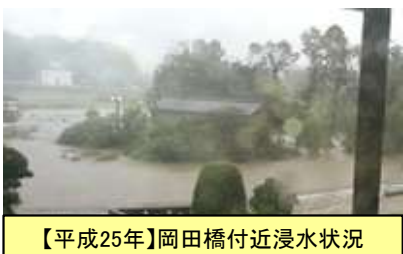
○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、椎津川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、河口～JR内房線下流区間において年超過確率1/50規模、岡田橋～不入斗川合流点区間において年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道拡幅、河床掘削、橋梁改修
 - ・高潮堤整備
 - ・樹木伐採、堆積土撤去
 - ・護岸整備
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の見直し（居住誘導区域への災害リスクの考慮）
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ

- ・水害対応タイムラインの活用
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・洪水ハザードマップの更新・配布
- ・内水ハザードマップの更新
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進
- ・業務継続計画（BCP）の策定
- ・地区防災計画の策定支援



- 【凡 例】
- 流域界
 - 河川改修
 - 危機管理型水位計
 - 河川監視カメラ
 - 浸水想定（計画規模1/50）

高潮堤整備、河床掘削、
樹木伐採、堆積土撤去

河道拡幅、河床掘削、
橋梁改修

水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用

護岸整備

危機管理型水位計
河川監視カメラ
（設置済）

危機管理型水位計
（設置済）

危機管理型水位計
（設置済）

立地適正化計画の見直し
（居住誘導区域への災害リスクの考慮）

洪水浸水想定区域図（公表済）
洪水ハザードマップの更新・配布
内水ハザードマップの更新

- 椎津川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】河川における対策として、椎津川の上流域（岡田橋～不入斗川合流点）で河道拡幅、河床掘削及び橋梁改築を推進するとともに、下流域（河口～横町橋）では樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。

【中 期】引き続き、椎津川上流域（岡田橋～不入斗川合流点）の早期完成に向けて、河道拡幅及び河床掘削を推進する。

【中長期】椎津川の下流域（河口～横町橋）で高潮堤整備及び河床掘削を推進し、椎津川全川の整備完了を目指す。また、深城川及び不入斗川では護岸整備を実施する。

● あわせて、水田を活用した一時貯留（田んぼダム）やため池等の治水利用を推進するとともに、マイ・タイムラインや地区防災計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、河床掘削、橋梁改築	千葉県	岡田橋～不入斗川合流点		河口～JR内房線
	高潮堤整備	千葉県			河口～横町橋
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	河口～横町橋	定期的に実施予定	
	護岸整備	市原市			深城川、不入斗川
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の見直し(居住誘導区域への災害リスクの考慮)	市原市	改定・運用	定期的に見直しで運用	
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県、市原市	運用状況の検証・定期的に更新予定		
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、市原市	運用実績の検証		
	マイ・タイムラインの作成支援	市原市	継続して実施		
	洪水ハザードマップの更新・配布	市原市	更新・配布		
	内水ハザードマップの更新	市原市	随時見直しながら実施		
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進	市原市	継続して実施		
	業務継続計画(BCP)の策定	市原市	随時見直しながら実施		
	地区防災計画の策定支援	市原市	継続して実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】

■河川対策
全体事業費 5.8億円
河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、平久里川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、降雨強度50mm/hr相当の確率規模の降雨によって発生しうる洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



【平成28年】滝川新橋付近浸水状況



【平成27年】平久里川横峯大橋付近浸水状況

水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用

森林等の健全な維持
管理と育成・保全

洪水浸水想定区域図
（公表済）
洪水ハザードマップ
（想定最大規模に更新）

危機管理型水位計
河川監視カメラ
（設置済）

河道拡幅

地すべり対策

危機管理型水位計
（設置済）

河道拡幅、橋梁改築



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道拡幅、橋梁改築、樹木伐採、堆積土撤去
 - ・地すべり対策、砂防堰堤（整備済）
 - ・森林等の健全な維持管理と育成・保全
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の策定支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図、洪水ハザードマップ
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・防災士養成のための支援
 - ・避難所開設・混雑情報のリアルタイム表示

河道拡幅（滝川における多自然川づくり）



地すべり対策（南房総市増間）※整備済



【凡 例】

- 流域界
- 河川改修
- 砂防堰堤（整備済）
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

- 平久里川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短 期】河川における対策として、平久里川の河口部（河口～滝川合流点）と滝川の上流部（館野橋～山名川合流点）で河道拡幅を推進する。また、県管理の二級河川において、樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中 期】引き続き、平久里川の河口部（河口～滝川合流点）と滝川の上流部（館野橋～山名川合流点）の早期完成に向けて、河道拡幅を推進する。
 - 【中長期】平久里川の下流部（西郷堰～三芳橋）の河道拡幅を推進し、平久里川水系の事業区間について整備完了を目指す。
- あわせて、上流域における地すべり対策、森林等の健全な維持管理と育成・保全、雨水を一時的に貯留する田んぼダム、ため池等の治水利用を促進するとともに、避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築	千葉県	平久里川、滝川の河川改修を実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	二級河川で実施	定期的に実施予定	
	地すべり対策	千葉県	地すべり防止区域内で実施	地すべりの活動状況に応じて実施予定	
	森林等の健全な維持管理と育成・保全	南房総市	継続して実施		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水利用	施設管理者等	千葉県と関係市が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	運用状況の検証・定期的に更新予定		
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市	運用実績の検証		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	館山市	継続して実施		
	防災士養成のための支援	関係市	継続して実施		
	避難所開設・混雑情報のリアルタイム表示	南房総市	継続して実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】
■河川対策
全体事業費 25.7億円
河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、真亀川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



【平成8年】中橋付近浸水状況



【平成8年】中橋付近浸水状況



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 河道拡幅、橋梁改築、堰改築
- ・ 護岸補修
- ・ 堆積土撤去（河川）
- ・ 堆積土撤去（調整池・調節池）
- ・ 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
- ・ 利水ダムの事前放流
- ・ 水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
- ・ ため池やクリークの治水活用
- ・ 開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 立地適正化計画の策定支援

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 洪水浸水想定区域図（公表済）
- ・ 洪水ハザードマップ（公表済）
- ・ 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- ・ 水害対応タイムラインの活用
- ・ マイ・タイムラインの作成支援
- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
- ・ 事業継続計画（BCP）の策定
- ・ 不動産取引時の水害リスク情報提供

橋梁改築（中橋）



事前放流（東金ダム）



水資源機構提供

【凡 例】

- 流域界
- 河川改修
- 堤防強化（津波対策完了）
- ▲ 利水ダムの事前放流
- 調整池・調節池（整備済）
- ため池水位調整実施
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

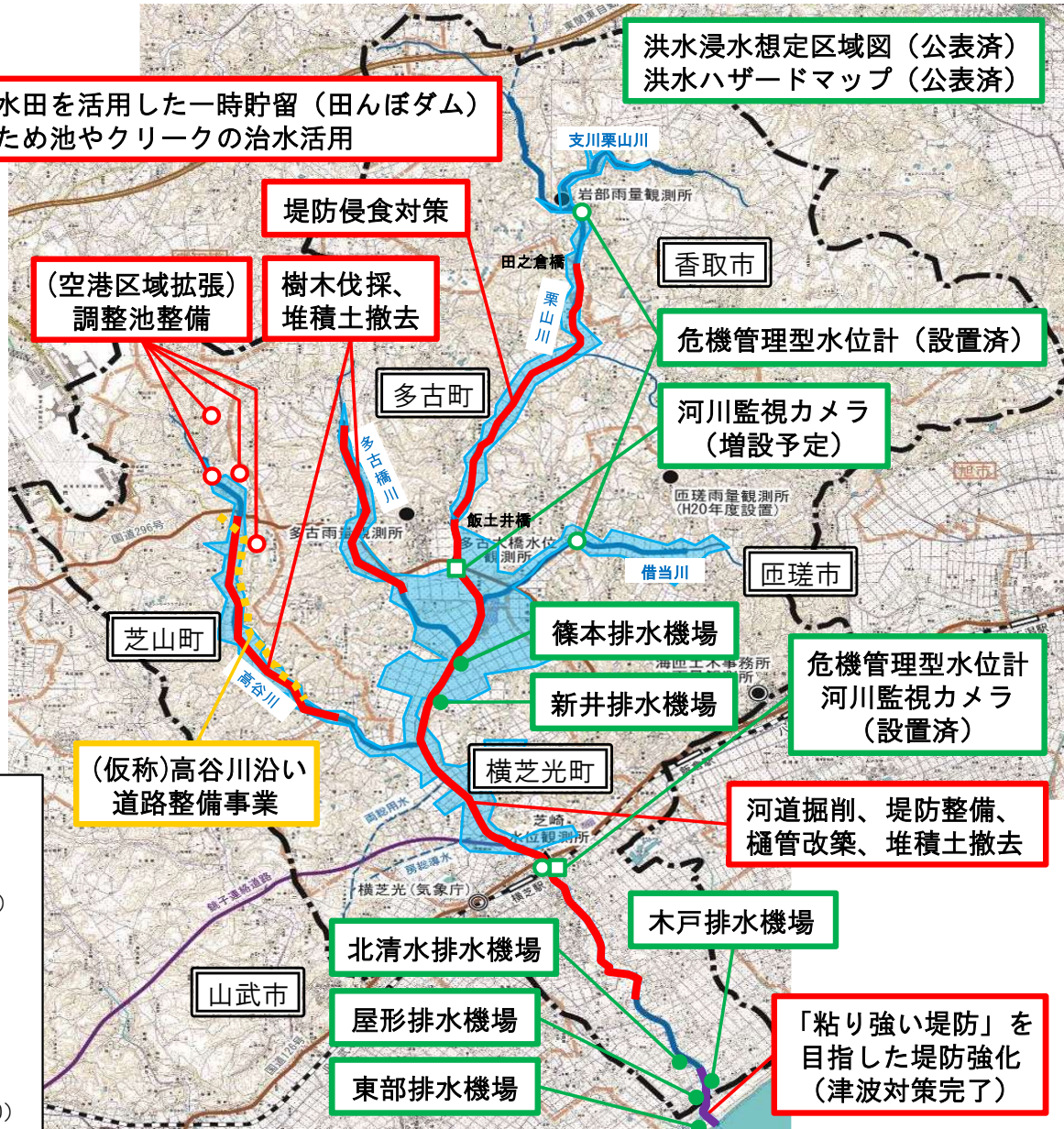
- 真亀川水系では、県、市町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短 期】河川における対策として、真亀川の中流域で中橋の改築を推進するとともに、下流域（河口～北幸谷川合流点）で堆積土撤去を実施する。
 - 【中 期】中橋の改築完了後、真亀川の中流域（中橋～田間2区排水路流入部）で河道拡幅及び橋梁改築等を推進する。
 - 【中長期】引き続き、真亀川の中流域（中橋～田間2区排水路流入部）で河道拡幅及び橋梁改築等を推進し、真亀川の事業区間について整備完了を目指す。
- あわせて、東金ダムにおける事前放流や雨水を一時的に貯留する田んぼダム、ため池等の治水利用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築、堰改築	千葉県	中橋の改築	中橋～田間2区排水路流入部	
	護岸補修	東金市		継続して実施	
	堆積土撤去（河川）	千葉県	河口～北幸谷川	定期的に実施予定	
	堆積土撤去（調整池・調節池）	東金市	3箇所実施		
	利水ダムの事前放流	水資源機構		継続して実施	
	水田を活用した一時貯留（田んぼダム）	集落活動組織等		千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進	
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等		千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進	
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	関係市町		継続して実施	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県		策定・見直し支援	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	運用状況の検証・定期的に更新予定		
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町		運用実績の検証	
	マイ・タイムラインの作成支援	東金市、大網白里市		継続して実施	
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	東金市、大網白里市		継続して実施	
	事業継続計画（BCP）の策定	東金市、大網白里市		随時見直しながら実施	
	不動産取引時の水害リスク情報提供	大網白里市		継続して実施	

【事業費（R3以降の残事業費）】
■河川対策
全体事業費 30.2億円
河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、栗山川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 河道掘削、堤防整備、樋管改築
- ・ 堤防侵食対策
- ・ 樹木伐採、堆積土撤去
- ・ 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
- ・ 空港区域拡張（C滑走路新設）に伴う調整池の整備
- ・ 水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
- ・ ため池やクリークの治水活用
- ・ 建築確認申請時の浸透枳設置のお願い
- ・ 開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 高谷川の氾濫時にも通行できる道路（一部機能補償道路）の新設整備
- ・ 立地適正化計画の策定支援

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 洪水浸水想定区域図（公表済）
- ・ 洪水ハザードマップ（公表済）
- ・ 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- ・ 水害対応タイムラインの活用
- ・ マイ・タイムラインの作成支援
- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
- ・ 排水門等の整備（排水機場の老朽化対策）

河道拡幅（栗山川中流域）



（仮称）高谷川沿い道路整備事業



【凡 例】

- 流域界
- 河川改修
- 堤防強化（津波対策完了）
- 氾濫時通行可能道路整備
- 雨水貯留施設整備
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 排水門等の整備
- 浸水想定（計画規模1/50）

- 栗山川水系では、県、市町等が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短 期】河川における対策として、栗山川の中流域で河道掘削及び堤防整備等を推進するとともに、栗山川、高谷川及び多古橋川等で樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中 期】引き続き、栗山川の中流域で高谷川合流点までの河道掘削及び堤防整備等を推進する。
 - 【中長期】栗山川の中流域で飯土井橋までの河道掘削及び堤防整備等を推進し、事業区間の改修完了を目指す。また、栗山川の上流域でも飯土井橋から田之倉橋の区間で堤防侵食対策を継続して実施していく。
- あわせて、農地が多くを占める流域内の土地利用状況を踏まえ、雨水を一時的に貯留する田んぼダムやため池等の治水利用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、樋管改築	千葉県	高谷川合流点まで実施		飯土井橋まで実施
	堤防侵食対策	千葉県	飯土井橋から田之倉橋の区間で継続して実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	3河川等で実施	定期的に実施予定	
	空港区域拡張(C滑走路新設)に伴う調整池の整備	成田国際空港(株)	新設整備		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	建築確認申請時の浸透柵設置のお願い	横芝光町	継続して実施		
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	芝山町、横芝光町	継続して実施		
被害対象を減少させるための対策	高谷川の氾濫時にも通行できる道路(一部機能補償道路)の新設整備	芝山町、成田国際空港(株)	新設整備		
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	運用状況の検証・定期的に更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町	運用実績の検証		
	マイ・タイムラインの作成支援	香取市	継続して実施		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	横芝光町	継続して実施		
	排水門等の整備(排水機場の老朽化対策)	横芝光町	排水機場6箇所で実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】
 ■河川対策
 全体事業費 45.4億円
 河道掘削、堤防整備等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進